

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信 託 期 間	約 4 年 2 カ月間（2014年10月14日～2018年12月18日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」（以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10% 以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

世界ハイブリッド証券ファンド
2014－10
(為替ヘッジあり／限定追加型)

運用報告書(全体版)
第 3 期

(決算日 2016年 4 月28日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド 2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

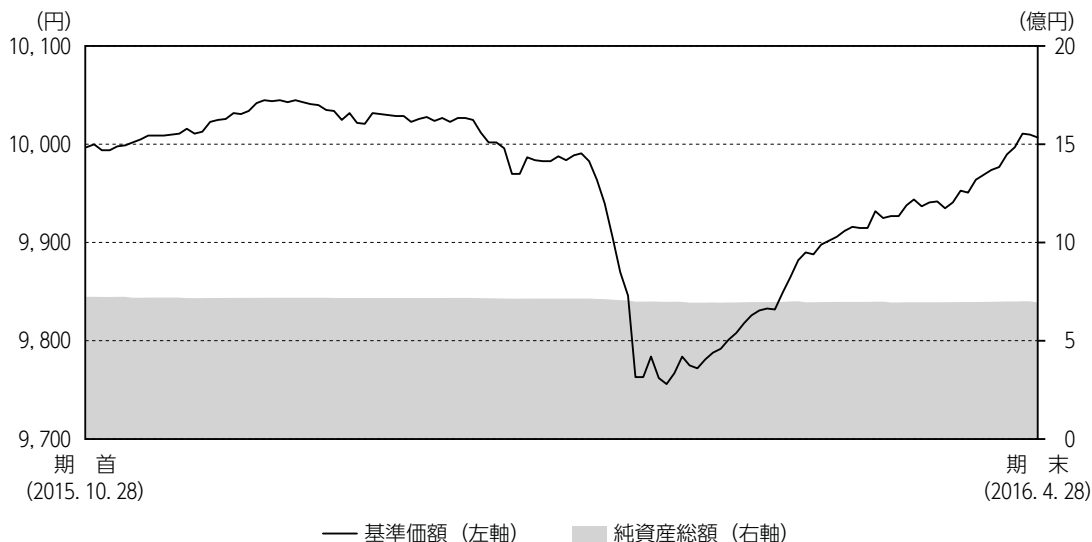
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末（2015年 4 月28日）	10,193	90	2.8	0.0	99.5	743
2 期末（2015年10月28日）	9,997	90	△ 1.0	0.0	99.5	723
3 期末（2016年 4 月28日）	9,917	90	0.1	0.0	99.4	694

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：9,997円

期 末：9,917円（分配金90円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド（以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。）」の受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、利息収入がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2015年10月28日	9, 997	—	0. 0	99. 5
10月末	9, 994	△ 0. 0	0. 0	99. 5
11月末	10, 034	0. 4	0. 0	99. 6
12月末	10, 023	0. 3	0. 0	99. 6
2016年 1 月末	9, 988	△ 0. 1	0. 0	99. 7
2 月末	9, 788	△ 2. 1	0. 0	99. 6
3 月末	9, 925	△ 0. 7	0. 0	99. 8
(期 末) 2016年 4 月28日	10, 007	0. 1	0. 0	99. 4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市況は、期首から、ＥＣＢ（欧州中央銀行）による追加金融緩和への期待の高まりや、米国の利上げ開始後のペースが緩やかなものになるとの見方が強まったことなどを背景に、2015年11月末にかけて堅調な展開となりました。しかし12月から2016年2月にかけては、原油価格や中国株式市況の下落をきっかけとした世界的な株安に加え、欧州の金融機関への信用不安が台頭したことなどから、投資家のリスク回避の動きが強まり、ハイブリッド証券市況も大幅に下落する展開となりました。しかし、欧州の大手銀行が債券買い戻し計画を発表したことや、ドラギＥＣＢ総裁が2016年3月の理事会で追加の金融緩和を行なう可能性を改めて示唆したことや、原油価格の反発等を背景に株式市況が上昇に転じたことから、投資家に安心感が広がり、ハイブリッド証券市況は上昇に転じました。その後も、ＥＣＢ理事会で決定された包括的な追加金融緩和策の内容が市場の期待を上回るものであったことが好感されたことに加え、原油価格が底堅く推移したことや、2016年1-3月期の米国の大手銀行の決算内容が事前予想より良いとの見方も好材料となって、ハイブリッド証券市況は底堅く推移しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

○ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

バーゼルⅢで資本算入されない従来型ハイブリッド証券については、発行体の財務健全化に加え、相対的に高い利回りを求める投資需要とコール（繰上償還）の進展による希少性の高まりといった需給要因が引き続き支援材料になるとみられます。当ファンドでは、現状の組入銘柄の保有を基本に、相対価値比較の上で一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行なう方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資割合を高位に維持しました。

○ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

当ファンドは、世界を代表する金融機関が発行するハイブリッド証券を対象に、デフォルト（債務不履行）リスクおよびコール延期リスクを避けて高いリターンが見込まれる証券への投資を行ないました。期中の解約に対し、慎重に組入証券の売却を行なう一方、投資魅力度が高いと判断される銘柄を一部組み入れることにより、ポートフォリオの利回り向上に努めました。また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は90円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2015年10月29日 ～2016年 4月28日	
当期分配金（税込み）（円）		90
対基準価額比率（％）		0.90
当期の収益（円）		90
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		418

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	178.79円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	72.85
(d) 分配準備積立金	256.83
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	508.48
(f) 分配金	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	418.48

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

○ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

当ファンドで組み入れている金融機関は、規制強化を背景にビジネスモデルの転換を図ることなどにより着実に財務健全化を進めており、クレジットファンダメンタルズも健全であるとみています。2016年2月中旬以降、金融市場を取り巻く環境は改善を示しておりますが、依然としてハイブリッド証券の利回りは魅力的な水準であると考えており、また、その希少性等を背景とした需給面での下支えも期待できることから、引き続き底堅い展開が予想されます。よって、現状の組入銘柄の保有を基本に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行なう方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 10. 29～2016. 4. 28)		
	金 額	比 率	
信託報酬	52円	0. 526%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 954円です。
(投信会社)	(24)	(0. 243)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(27)	(0. 270)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0. 530	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年10月29日から2016年 4月28日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口	千円	千口	千円
	171.097	16,595	347.565	33,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年10月29日から2016年 4月28日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				TII FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND (ケイマン諸島)	347.565	33,600	96

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1)当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける
期中の利害関係人との取引状況

(2015年10月29日から2016年 4月28日まで)

決 算 期	当			期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
公社債	百万円 9,050	百万円 1,000	% 11.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	391,386	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファン
ドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支
払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支
払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) TH FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND	7, 117. 695	690, 729	99. 4

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	2016年 4月28日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	690, 729	98. 0
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	14, 290	2. 0
投資信託財産総額	705, 020	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年 4月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	705, 020, 849円
コール・ローン等	14, 290, 171
投資信託受益証券 (評価額)	690, 729, 678
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	1, 000
(B) 負債	10, 071, 843
未払収益分配金	6, 306, 576
未払信託報酬	3, 736, 560
その他未払費用	28, 707
(C) 純資産総額 (A - B)	694, 949, 006
元本	700, 730, 707
次期繰越損益金	△ 5, 781, 701
(D) 受益権総口数	700, 730, 707口
1万口当り基準価額 (C / D)	9, 917円

* 期首における元本額は724, 166, 976円、当期中における解約元本額は23, 436, 269円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9, 917円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5, 781, 701円です。

■損益の状況

当期 自2015年10月29日 至2016年 4月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16, 294, 258円
受取配当金	16, 293, 661
受取利息	657
支払利息	△ 60
(B) 有価証券売買損益	△ 11, 785, 519
売買益	542, 164
売買損	△ 12, 327, 683
(C) 信託報酬等	△ 3, 765, 267
(D) 当期損益金 (A + B + C)	743, 472
(E) 前期繰越損益金	△ 1, 756, 857
(F) 追加信託差損益金	1, 538, 260
(配当等相当額)	(5, 104, 916)
(売買損益相当額)	(△ 3, 566, 656)
(G) 合計 (D + E + F)	524, 875
(H) 収益分配金	△ 6, 306, 576
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5, 781, 701
追加信託差損益金	△ 1, 538, 260
(配当等相当額)	(5, 104, 916)
(売買損益相当額)	(△ 3, 566, 656)
分配準備積立金	24, 219, 498
繰越損益金	△ 31, 539, 459

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12, 528, 991円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	5, 104, 916
(d) 分配準備積立金	17, 997, 083
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	35, 630, 990
(f) 分配金	6, 306, 576
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	29, 324, 414
(h) 受益権総口数	700, 730, 707口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	90円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、4月28日現在の基準価額（1万口当り9,917円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル
セキュリティーズ ファンド

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2016年4月28日時点で入手し得る直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2014年12月31日現在

（日本円）

資産

現金及び現金同等物	301, 029, 426
未収利息	103, 403, 493
未収申込金	31, 700, 000
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される金融資産	5, 215, 150, 162

資産合計

5, 651, 283, 081

負債

利益または損失を通じたフェアバリューで測定される金融負債	56, 949, 217
未払解約金	1, 500, 000
未払費用	10, 218, 692

負債合計

68, 667, 909

資本

資本金	5, 656, 228, 206
繰越損失	(73, 613, 034)

資本合計

5, 582, 615, 172

負債及び資本合計

5, 651, 283, 081

損益計算書

2014年5月1日（ファンド設定日）～2014年12月31日

（日本円）

収益

受取利息	143,287,052
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される 金融資産及び負債の純実現損失	(398,660,089)
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される 金融資産及び負債の未実現利益の純変動額	330,030,869
為替差(損)益	(3,315,221)
収益合計	71,342,611

費用

運用報酬	10,860,719
保管費用	1,037,462
管理費用	5,749,792
事務代行費用	939,602
監査費用	2,517,205
その他費用	20,720
弁護士費用	89,917
その他弁護士費用	207,011
設立費用	2,959,011
費用合計	24,381,439

当期利益

46,961,172

組入明細

通貨	銘柄名	利率（％）	次回コール日	市場価値 (現地通貨)
EUR	ABN AMRO BANK NV	4.31	2016/3/10	1,885,205.24
EUR	BARCLAYS BANK PLC	4.75	2020/3/15	2,191,063.82
EUR	BNP PARIBAS	4.875	2015/10/17	557,994.01
EUR	BPCE SA	6.117	2017/10/30	2,354,729.30
EUR	DB CONT CAP TRUST IV	8	2018/5/15	1,064,422.60
EUR	ELM BV (SWISS LIFE)	5.849	2017/4/12	1,271,824.79
EUR	NATIXIS	6.307	2017/10/18	110,012.20
EUR	SOCIETE GENERALE	6.999	2017/12/19	556,054.64
EUR	UBS AG JERSEY BRANCH	7.152	2017/12/21	2,081,597.38
GBP	AMERICAN INTL GROUP	5.75	2017/3/15	631,102.21
GBP	AVIVA PLC	6.125	2022/9/29	1,400,019.86
GBP	BNP PARIBAS	5.954	2016/7/13	1,110,617.51
GBP	DANSKE BANK A/S	5.375	2018/9/29	1,666,259.94
GBP	ING GROEP NV	5.14	2016/3/17	627,635.76
GBP	MUFG CAPITAL FIN 5 LTD	6.299	2017/1/25	1,197,093.59
USD	ALLIANZ SE	5.5	2018/9/26	1,703,743.52
USD	CREDIT AGRICOLE SA	8.375	2019/10/13	3,743,244.07
USD	CREDIT AGRICOLE SA	6.637	2017/5/31	368,790.55
USD	CREDIT SUISSE GUERNSEY	5.86	2017/5/15	2,933,882.10
USD	DEUTSCHE BK CAP FNDG TST	5.628	2016/1/19	2,086,362.08
USD	ING GROEP NV	5.775	2015/12/8	1,527,735.58
USD	PRUDENTIAL PLC	7.75	2016/6/23	2,605,592.01
USD	SMFG PREF CAP USD 3	9.5	2018/7/25	1,254,302.78
USD	SOCIETE GENERALE	5.922	2017/4/5	1,996,655.92
USD	STANDARD CHARTERED PLC	6.409	2017/1/30	1,056,646.11

通貨の略称：

EUR — ユーロ

GBP — 英ポンド

USD — 米ドル

<補足情報>

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2016年4月28日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を14ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年10月29日から2016年4月28日まで)

買 付			売 付		
銘 柄		金 額	銘 柄		金 額
		千円			千円
557 国庫短期証券	2015/12/14	1,500,000			
563 国庫短期証券	2016/1/18	1,150,000			
586 国庫短期証券	2016/5/12	1,000,337			
567 国庫短期証券	2016/2/8	999,999			
574 国庫短期証券	2016/3/14	700,069			
576 国庫短期証券	2016/3/22	700,067			
573 国庫短期証券	2016/3/7	500,099			
584 国庫短期証券	2016/4/25	500,056			
585 国庫短期証券	2016/5/2	500,044			
582 国庫短期証券	2016/4/18	500,034			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年4月28日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（10,595,734千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2016年4月28日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 2,600,000	千円 2,601,944	% 24.5	% —	% —	% —	% 24.5

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年4月28日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日	
国債証券	585 国庫短期証券	—	千円 500,000	千円 500,001	2016/05/02	
	586 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,050	2016/05/12	
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,101,892	2016/09/20	
合 計	銘 柄 数 金 額	3銘柄	2,600,000	2,601,944		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

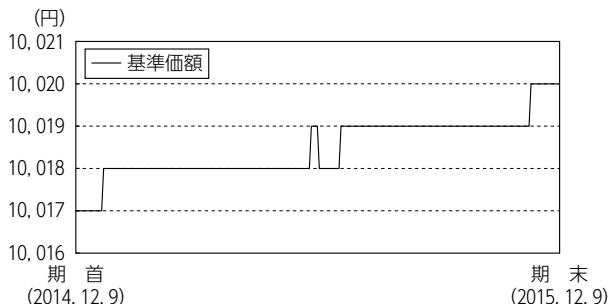
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	騰 落 率		
(期首) 2014年12月9日	円	%	%
12月末	10,017	—	53.3
2015年1月末	10,018	0.0	72.3
2月末	10,018	0.0	80.5
3月末	10,018	0.0	70.3
4月末	10,018	0.0	59.6
5月末	10,018	0.0	70.6
6月末	10,018	0.0	73.2
7月末	10,019	0.0	69.3
8月末	10,019	0.0	59.4
9月末	10,019	0.0	65.5
10月末	10,019	0.0	51.5
11月末	10,019	0.0	76.0
12月末	10,020	0.0	56.8
(期末) 2015年12月9日	10,020	0.0	52.7

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,020円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続き、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券（3カ月物）の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	32,338,160	—
		(32,240,000)	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

当		期	
買		売	
付		付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
491 国庫短期証券 2015/5/14	1,999,998		
540 国庫短期証券 2015/9/24	1,699,999		
555 国庫短期証券 2015/12/7	1,500,000		
557 国庫短期証券 2015/12/14	1,500,000		
541 国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998		
532 国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995		
514 国庫短期証券 2015/5/25	1,499,968		
521 国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925		
502 国庫短期証券 2015/3/30	1,199,993		
563 国庫短期証券 2016/1/18	1,150,000		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	6,437,978	52.7
コール・ローン等、その他	5,772,311	47.3
投資信託財産総額	12,210,290	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作 成 期	当		期		末		
区 分	額面金額	評価額	組入 比率	うちBB格 以下組入 比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	6,435,000	6,437,978	52.7	—	%	%	%
					—	—	52.7

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

当		期		末	
区 分	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	557 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,000	2015/12/14
	336 2年国債	0.1000	185,000	185,022	2016/01/15
	563 国庫短期証券	—	1,150,000	1,150,000	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/02/08
	573 国庫短期証券	—	500,000	500,097	2016/03/07
	100 5年国債	0.3000	1,100,000	1,102,860	2016/09/20
	7銘柄数				
合計	銘柄数	7銘柄			
	金 額		6,435,000	6,437,978	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	12,210,290,310円
コール・ローン等	5,771,514,330
公社債（評価額）	6,437,978,324
未収利息	668,726
前払費用	128,930
(B)負債	—
(C)純資産総額（A－B）	12,210,290,310
元本	12,186,116,869
次期繰越損益金	24,173,441
(D)受益権総口数	12,186,116,869口
1万口当り基準価額（C／D）	10,020円

*期首における元本額は11,884,993,463円、当期中における追加設定元本額は8,064,725,261円、同解約元本額は7,763,601,855円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ26,536,157円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－2,395,687,762円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11－71,870,634円、ダイワ日本株式ベア・ファンド－ベアシフト11 Ver 2－29,945,799円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース10,980,236円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,696,946円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース7,487,022円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース3,593,631円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）29,988,005円、ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,999,201円、通貨選択型ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,002,195円、通貨選択型ダイワ／N B・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）3,011,774円、ダイワ新興国ハインカム・プラス－インカムチェンジ（積立型）－7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－2,626,169,333円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,020円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A)配当等収益	3,173,485円
受取利息	3,173,485
(B)有価証券売買損益	△ 382,400
売買益	1,050
売買損	△ 383,450
(C)当期損益金（A＋B）	2,791,085
(D)前期繰越損益金	20,640,762
(E)解約差損益金	△ 14,198,145
(F)追加信託差損益金	14,939,739
(G)合計（C＋D＋E＋F）	24,173,441
次期繰越損益金（G）	24,173,441

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。